

## プログラムⅢ

「みやざき」の未来を創る人材の育成・活躍

## 政策1 子どもを生み育てやすい県づくり



### 【概要】

出生数の減少は次代を担う若者の減少につながり、このままでは地域経済の縮小のほか、地域の文化や防災・防犯の担い手不足など、生活のあらゆる面に大きな影響を及ぼすことが懸念されます。

このため、出生数の回復に向け、結婚支援や妊娠・出産に関する相談体制の充実など結婚・出産の希望がかなう環境づくりに取り組むとともに、子育て支援施策に関する情報提供や子育て支援体制の整備、男性の家事・育児等への参画推進など、安心して子育てしやすい環境づくりを推進します。

### 重点項目1 結婚・出産の希望がかなう環境づくり

#### 【実施内容】

|   |   |
|---|---|
| 1 | 外部有識者等による議論を踏まえた少子化対策の強化                |
| 2 | みやざき結婚サポートセンター等による出会いの機会の創出             |
| 3 | 女性専門相談センターや不妊専門相談センターなど妊娠・出産に関する相談体制の充実 |
| 4 | 不妊治療への理解促進に向けた啓発や不妊治療等を受ける夫婦への経済的支援     |
| 5 | 地域分散型の周産期医療体制の更なる充実と現在の機能の維持            |
| 6 | 産婦人科医・小児科医の確保・育成                        |
| 7 | 従業員への理解・サポート制度の充実など出会い・結婚支援に取り組む企業等への支援 |



## 重点項目2 安心して子育てしやすい環境づくり

### 【実施内容】

|   |   |
|---|---|
| 1 | 子育て支援施策に関する情報提供やライフデザイン事業などによる子育てに係る不安や負担の軽減                            |
| 2 | みやざき家庭教育サポートプログラム <sup>1</sup> の活用及び子どもの食・健康など子育てに関する情報提供等による親等の子育て力の向上 |
| 3 | 子育て支援拠点や放課後児童クラブなど地域の子育て支援体制の整備   |
| 4 | 修学資金の貸付けや業務のICT化支援による労働環境の改善など保育士等の安定的な確保                               |
| 5 | 幼児教育センターの設置による幼保小連携・接続の強化や保育士・幼稚園教諭の研修の充実                               |
| 6 | 男性の家事・育児等への参画推進、柔軟な働き方の導入など子育て支援に取り組む企業等への支援                            |



### 【指標】

#### 合計特殊出生率

現況：1.64（令和3年）



目標：**1.8台**（令和8年）

#### 病児保育事業実施施設数

現況：32か所（令和4年度）



目標：**35か所**（令和8年度）

#### みやざき結婚サポートセンターを通じた成婚数（累計）

現況：136組（令和4年度）



目標：**204組**（令和8年度）

#### 育児休業取得率

現況：男性 25.8%  
女性 98.4%（令和4年度）



目標：男性 **50%**  
女性 **100%**（令和8年度）

<sup>1</sup> みやざき家庭教育サポートプログラム：参加者同士が交流しながら、親としての役割や子どものかかわり方、地域の親子の支援の仕方についての気づきを促すことをねらいとした学習プログラム。

## 政策2 未来を担う子どもたちの育成



### 【概要】

デジタル技術の拡大や社会の価値観の変化、グローバル化の進展など、変動が激しく、複雑で予測困難な時代にあって、子どもたちがそれぞれの能力や可能性を伸ばすことで、将来に夢や希望を持ち、本県の未来を切り拓いていく原動力として成長していくことが重要です。

このため、基礎的な学力・体力とともに、学校・家庭・地域等の連携により、主体性や柔軟な思考力、創造力、グローバルな視点など、これからの時代に必要となる力を育む教育や、「みやぎ愛」の醸成、キャリア教育に取り組みます。

### 重点項目1 新たな時代を生き抜く力を育む教育の推進

#### 【実施内容】

|   |   |
|---|---|
| 1 | 「主体的・対話的で深い学び」の推進による自ら学ぶ力や生きる力の育成                       |
| 2 | STEAM教育 <sup>1</sup> やESD <sup>2</sup> など教科・分野横断的な学習の推進 |
| 3 | 国際交流の充実や高校生の海外留学支援などによるグローバル教育の推進                       |

### 重点項目2 ふるさと学習やキャリア教育の充実

#### 【実施内容】

|   |   |
|---|---|
| 1 | コミュニティ・スクール <sup>3</sup> 等の活用による郷土に対する誇り・愛着を育むふるさと学習の充実 |
| 2 | 発達の段階に応じたキャリア教育・職業教育の推進                                 |

<sup>1</sup> STEAM教育：Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学・ものづくり)、Arts(芸術・リベラルアーツ)、Mathematics(数学)の5つの単語の頭文字を組み合わせた教育概念。各教科等での学習を実社会での問題発見・解決に生かしていくための教科等横断的な学習。

<sup>2</sup> ESD：Education for Sustainable Development(持続可能な開発のための教育)の略。持続可能な開発を実現するために発想し、行動できる人材を育成する学習・教育活動。

<sup>3</sup> コミュニティ・スクール：校長、保護者、地域住民で構成する「学校運営協議会」を設置し、学校運営に地域の声を生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができる仕組み。

### Ⅲ 「みやざき」の未来を創る人材の育成・活躍



#### 【指標】

全国学力調査における  
全国との平均正答数の比較  
(全国を100とした指数)

現況：97.0 (令和4年度)



目標：103.0 (令和8年度)

科学の甲子園  
全国大会の順位

現況：21位 (令和4年度)



目標：10位以内 (令和8年度)

県内高校生の留学者数  
(短期・長期留学)

現況：61人 (令和4年度)



目標：300人 (令和8年度)

ふるさとが好きだという  
児童生徒の割合

現況：87.8% (令和4年度)



目標：91.7% (令和8年度)

将来の職業や生き方を考えている  
中学3年生の割合

現況：87.1% (令和4年度)



目標：90.0% (令和8年度)

## 政策3 一人ひとりが自分らしく生き生きと活躍できる共感・共生社会づくり



### 【概要】

私たちの社会は、家庭や職場、地域等において、人や集団の関わりの中で築き上げられてきたものです。これからも、女性や高齢者、障がい者、外国人など、様々な人々が集い、共感や思いやりの心をもち助け合いながら、それぞれの個性や能力を発揮できる社会づくりを進めていくことが重要です。

このため、キャリアアップ支援や働きやすい職場環境づくり等による女性活躍の推進のほか、障がい者や高齢者が活躍できる環境づくり、国際交流の推進等による外国人との共生社会づくりに取り組みます。

### 重点項目1 女性も輝く地域づくり

#### 【実施内容】

|   |                                   |
|---|-----------------------------------|
| 1 | 相談対応の充実やセミナーの開催など就職・就業、キャリアアップの支援 |
| 2 | 性別によって役割を固定化する意識の解消に向けた取組の推進      |
| 3 | 女性が働きやすい職場環境づくりの推進                |

### 重点項目2 障がい者が自立し、安心して暮らせる共生社会づくり

#### 【実施内容】

|   |  |
|---|--|
| 1 | 障がいの正しい理解についての企業・県民等への普及啓発の強化及び生活や就業に関する相談対応・職場定着支援の充実   |
| 2 | 県立こども療育センターの機能強化及びショートステイ <sup>1</sup> の受入れ促進など在宅サービスの充実 |
| 3 | 本県初の「高等特別支援学校」の複数校設置による職業教育の充実                           |

### 重点項目3 高齢者が生き生きと活躍できる環境づくり

#### 【実施内容】

|   |                                  |
|---|----------------------------------|
| 1 | NPOやボランティア活動に関する情報提供や相談体制の充実     |
| 2 | シニアインターンシップの実施や就職面談会の開催など就業機会の確保 |

<sup>1</sup> ショートステイ：施設に短期間宿泊し、介護や生活支援を受けられるサービス。

## 重点項目4 外国人と共生する社会づくり・国際交流の促進

### 【実施内容】

|   |  |
|---|--|
| 1 | 外国人住民への支援や地域住民への意識啓発等を通じた多文化共生社会づくりの推進 |
| 2 | 宮崎県人会世界大会を契機とした交流の強化などによる国際交流の推進       |
| 3 | 学校教育における外国人児童・生徒のサポート                  |



### 【指標】

宮崎県は人権が尊重されていると思う人の割合

現況：46.7%（令和4年度）



目標：55.0%（令和8年度）

性別によって役割を固定化すべきでないと考える人の割合

現況：64.7%（令和4年度）



目標：75.0%（令和8年度）

福祉施設から一般就労に移行する障がい者数

現況：202人（令和3年度）



目標：259人（令和8年度）

国際交流関連行事・活動に参加したことのある人の割合

現況：14.0%（令和4年度）



目標：20.0%（令和8年度）

外国人住民が暮らしやすいと感じる割合

現況：92.2%（令和3年度）



目標：100%（令和8年度）

## 政策 4 健康・学び・スポーツ・文化の充実



### 【概要】

ライフスタイルや価値観が多様化する中、県民一人ひとりが健康で豊かな暮らしを楽しむことができる社会にしていくことが重要です。

このため、社会全体で県民の健康を守り支える環境づくりや、全世代が学び続けることのできる生涯学習の推進に取り組みます。

また、年齢・性別・障がいの有無などに関わらず、県民誰もが希望に応じてスポーツや文化活動を楽しむことができる環境を充実させるとともに、スポーツの競技力向上や文化交流活動の充実にも取り組みます。

### 重点項目 1 疾病予防・健康づくりの推進

#### 【実施内容】

|   |  |
|---|--|
| 1 | ベジ活 <sup>1</sup> ・へらしお <sup>2</sup> や運動習慣の定着、こころの健康など若い世代からの自主的な健康づくりの推進 |
| 2 | 健康経営の普及を通じた働く世代の健康づくりの推進   |
| 3 | 特定健康診査 <sup>3</sup> や特定保健指導 <sup>4</sup> の実施率向上など病気の発症・重症化予防に向けた取組の推進    |



### 重点項目 2 生涯を通じて学び続けられる環境づくり

#### 【実施内容】

|   |   |
|---|---|
| 1 | 市町村、企業、高等教育機関やNPO等との連携強化による生涯学習の推進        |
| 2 | 「読書県みやぎ」など、県民の文化活動の活性化に向けた社会教育施設の整備・機能の充実 |

<sup>1</sup> ベジ活：生活習慣病予防のために、野菜の摂取量を1日100g増やす活動・生活。

<sup>2</sup> へらしお：生活習慣病予防のために、塩分の摂取量を1日2g減らす活動・生活。

<sup>3</sup> 特定健康診査：生活習慣病の予防のために、医療保険者が40～74歳の被保険者と被扶養者に対して毎年実施する健康診査。

<sup>4</sup> 特定保健指導：特定健康診査の結果、生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善効果が見込める者に対し、そのリスクに応じて行われる保健指導。



### 重点項目3 県民のスポーツ活動・交流の促進

#### 【実施内容】

|   |   |
|---|---|
| 1 | 総合型地域スポーツクラブの設立・育成の支援などスポーツの場所と機会の提供        |
| 2 | スポーツ大会や各種教室等の開催など障がい者スポーツの推進                |
| 3 | 宮崎ねんりんピックの開催など高齢者スポーツの推進                    |
| 4 | 社会人アスリートの雇用の受け皿づくり                          |
| 5 | 練習環境の整備・充実や優秀指導者の確保など<br>国民スポーツ大会に向けた競技力向上  |
| 6 | 全国障害者スポーツ大会への選手派遣や指導者養成など<br>障がい者スポーツの競技力向上 |

### 重点項目4 県民の文化活動・交流の促進

#### 【実施内容】

|   |  |
|---|--|
| 1 | 宮崎国際音楽祭などの公演や美術展等の開催、県民の鑑賞機会の充実等による文化に親しむ機会の創出         |
| 2 | 県民芸術祭など文化活動の成果発表や創作活動を行える環境づくり                         |
| 3 | 地域ならではの文化資源の保存・継承・活用の推進や<br>文化資源の掘り起こし・磨き上げによる新しい文化の創造 |
| 4 | 障がい者芸術文化活動の促進による多様な価値の創出                               |
| 5 | 神楽のユネスコ無形文化遺産登録を目指す取組の推進                               |



#### 【指標】

特定健康診査実施率

現況：49.9%（令和2年度）



目標：70.0%（令和6年度）

成人の週1回以上のスポーツ実施率

現況：50.6%（令和4年度）



目標：60.0%（令和8年度）

日頃から生涯学習に  
取り組んでいる人の割合

現況：53.4%（令和4年度）



目標：60.0%（令和8年度）

日頃から文化に親しむ県民の割合

現況：70.6%（令和4年度）



目標：75.0%（令和8年度）